
平成27年3月期 第2四半期

決算説明会資料

平成26年11月28日
永大産業株式会社



EIDAI

1. 会社概要

会社概要

社 名：永大産業株式会社(Eidai Co., Ltd.)

代 表 者：代表取締役社長 大道 正人

本 社：大阪市住之江区

設 立：昭和21年7月29日

資 本 金：32億8530万円

事業内容：住宅資材及び木質ボードの製造・販売

従 業 員：連結 1, 283名 単体 866名

会社概要

■連結子会社

永大小名浜株式会社(福島県いわき市)

・パーカーティカルボードの製造・販売及び室内ドア等の製造

Eidai Vietnam Co.,Ltd. (ベトナム国ハナム省)

・フローリングの製造

■非連結子会社

永大スタッフサービス株式会社(大阪市住之江区)

・人材派遣、人材紹介

永大テクノサポート株式会社(大阪市住之江区)

・請負業

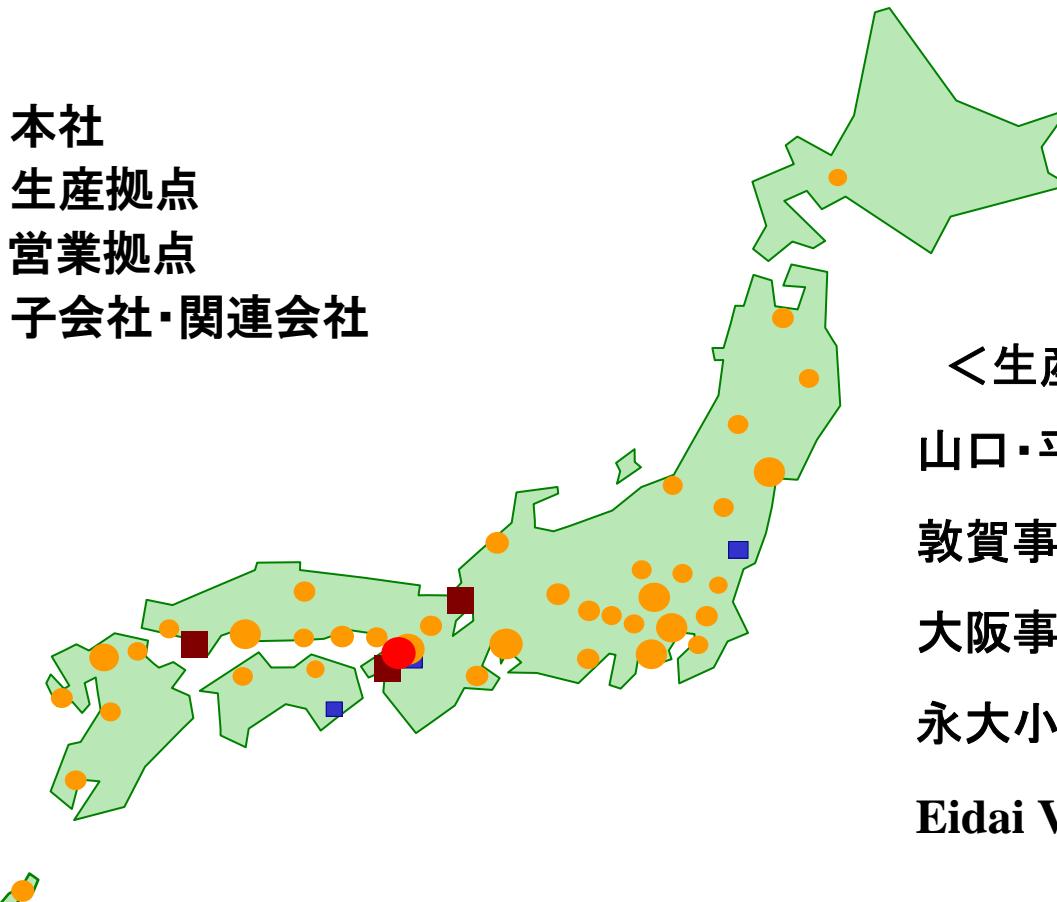
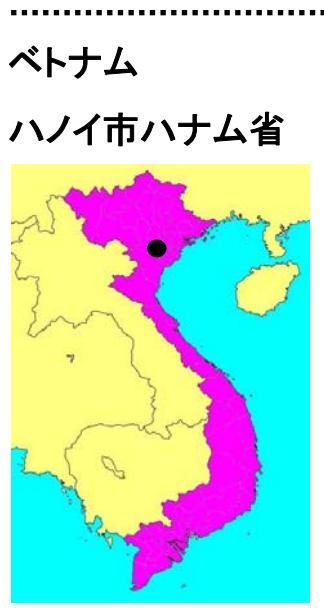
■持分法適用関連会社

エヌ・アンド・イー株式会社(徳島県小松島市)

・MDFの製造

会社概要

- 本社
 - 生産拠点
 - 営業拠点
 - 子会社・関連会社



＜生産拠点＞

山口・平生事業所

敦賀事業所

大阪事業所

永大小名浜株式会社

Eidai Vietnam Co.,Ltd.

〈營業拠点〉

全国41箇所

事業セグメント・分野

セグメント	分野	主な製品	拠点
住宅資材事業	建材分野	フローリング 室内階段	山口・平生事業所 敦賀事業所 Eidai Vietnam Co.,Ltd. 永大小名浜株式会社
	内装システム分野	室内ドア、造作材、カウンター システム収納、シーザズボックス その他内装部材	大阪事業所 永大小名浜株式会社
	住設分野	システムキッチン 洗面台 システムバス	大阪事業所
木質ボード事業	パーティクルボード分野	素材パーティクルボード 化粧パーティクルボード	山口・平生事業所 敦賀事業所 永大小名浜株式会社
その他事業	不動産有効活用事業(所有不動産の有効活用) 環境事業(アスベスト処理工事、作業環境測定・分析、処理薬剤販売) 太陽光発電事業		

事業内容

■住宅資材事業

建材分野

フローリング・室内階段

当社の基幹事業であり、業界トップシェアグループ

- ・表面化粧材に高級銘木を使用した「森の逸品、銘木フローリング『銘樹』」
- ・基材に国産材を積極的に活用した「日本の森活性化フローリング 里床(ツキ板)」
- ・天然ムクの素材を最大限に活かした「プレミアムムク」
- ・直貼りフローリング「ダイレクト」



<複合フローリング 市場シェア>

平成25年度		
順位	会社名	市場占有率 %
1	大建工業(株)	26.9
2	永大産業(株)	18.5
3	朝日ウッドテック(株)	16.3
4	パナソニック(株)ES社	13.4
5	(株)ノダ	8.2
6	(株)ウッドワン	7.7
その他		9.0
合計		100.0

引用:「2014年版住宅産業白書」(株式会社矢野経済研究所発行)

事業内容

内装システム分野

室内ドア・システム収納・シューズボックス

当社の重点分野であり、業界シェアは常に上位グループ

- ・ 美しさとコストパフォーマンスに優れ、独自の鏡面ファッショングの創出を目指す「アルティモード」
- ・ シンプルで美しく、ディテールにこだわったデザインの「アーバンモード α 」



＜室内ドア 市場シェア＞

平成25年度		
順位	会社名	市場占有率 %
1	パナソニック(株)ES社	5.8
2	大建工業(株)	5.4
3	永大産業(株)	3.9
4	(株)ウッドワン	3.7
5	(株)ハウテック	2.5
6	(株)ノダ	2.1
その他		76.6
合計		100.0

引用:「2014年版住宅産業白書」(株式会社矢野経済研究所発行)

事業内容

システムキッチン

ステンレス加工からキャビネットの組立まで一貫生産が可能

- ・システムキッチン「ラフィーナ エアプラス」の基材にホルムアルデヒドを極限まで抑制したパーティクル ボード「リラックス」を採用し、空気環境に配慮
- ・レンジフードの運転音を業界最小値にした「サイレントEcoクリーンフード『話上手』
- ・大手ハウスメーカーのOEM対応



<システムキッチン 市場シェア>

平成25年度		
順位	会社名	市場占有率 %
1	(株)LIXIL(サンウェーブ工業、トステム、INAX)	22.3
2	クリナップ(株)	21.5
3	タカラスタンダード(株)	21.1
4	パナソニック(株)ES社	12.8
5	トクラス(株)(旧ヤマハリビングテック(株))	7.0
6	TOTO(株)	6.5
7	永大産業(株)	2.1
	その他	6.7
	合計	100.0

引用:「2014年版住宅産業白書」(株式会社矢野経済研究所発行)

事業内容

■木質ボード事業

パーティクルボード分野

パーティクルボード

多品種小ロットの需要に対しても短納期で供給可能な生産体制

- ・ホルムアルデヒド放散量を極限まで抑制し、空気環境に配慮した
パーティクルボード「リラックス」
⇒ 文教施設や医療施設へ提案
- ・市場シェアは約20%



事業内容

■その他事業

環境事業(アスベスト処理事業)

- ・アスベスト処理工事(除去・封じ込め)
- ・作業環境測定・分析
- ・アスベスト処理薬剤の販売



不動産有効活用事業(所有不動産の有効活用)

- ・賃貸マンションをはじめとする
所有不動産の有効活用



太陽光発電事業

- ・予定発電量: 約61.5万kW／年
⇒ CO2削減量: 約205.3t／年

当社の強みとリスク

■当社の強み

- ・木質加工技術とステンレス加工技術
- ・柔軟な生産体制の構築
受注生産、短納期体制
⇒ 製品在庫の滞留・陳腐化防止
- ・強固な財務体质

■当社のリスク

- ・新設住宅着工戸数の減少(人口減、超高齢社会)
- ・原材料価格の高騰(現地価格高騰、為替変動)

配当に関する基本的な考え方

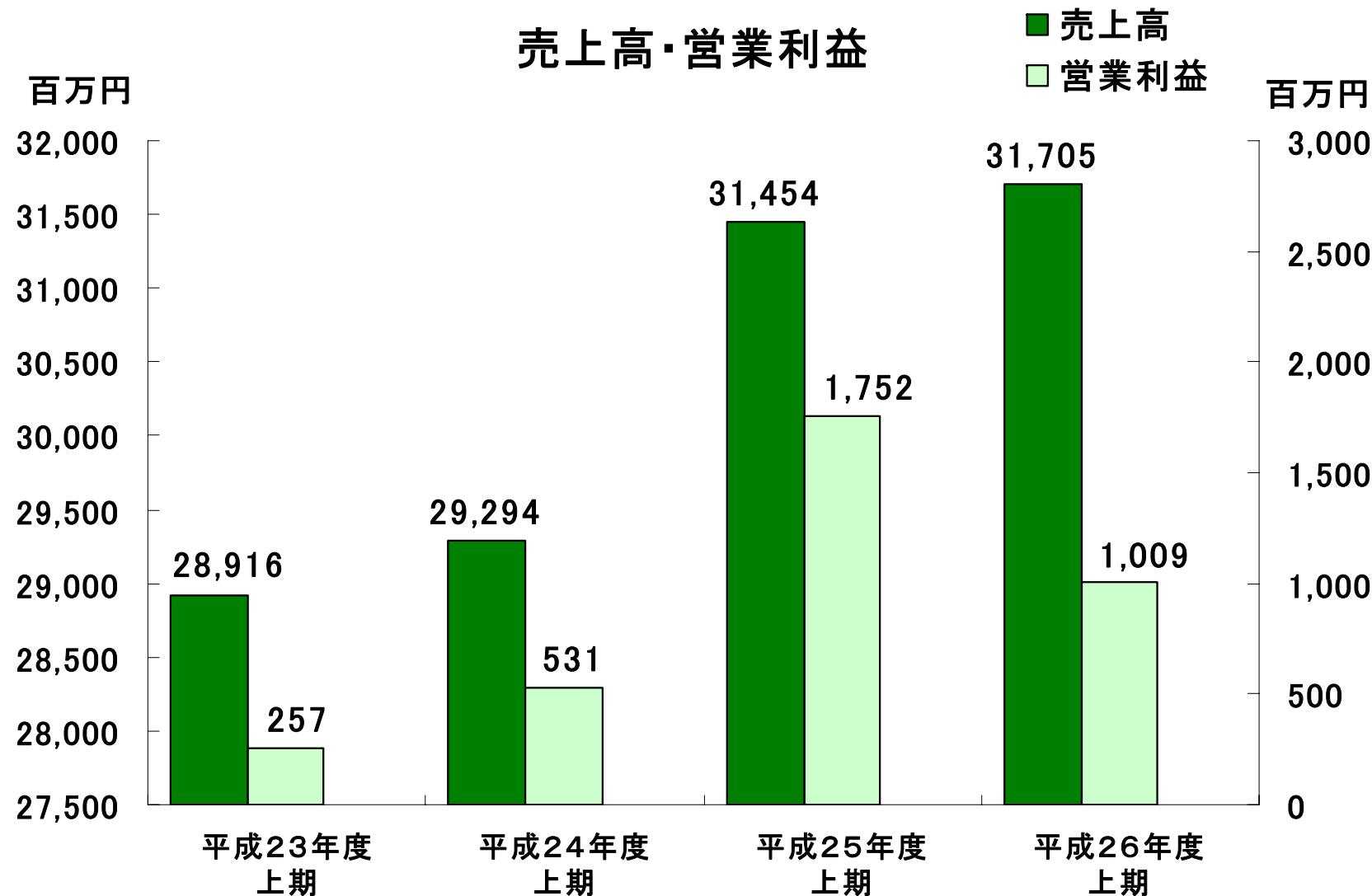
[1株当たりの配当金]

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 予定
中間	-	-	-	-	6.50
期末	10.00	12.00	10.00	13.00	6.50
合計	10.00	12.00	10.00	13.00	13.00

(注) 平成23年度期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 記念配当2円00銭

■ 今年度より中間配当を実施(12月12日予定)

平成26年度上期 連結業績



下期の施策

■ 新製品開発・市場投入

表面化粧材に厳選された高級銘木を使用した
「森の逸品、銘木フローリング銘樹」を10月に発売

- ① 「銘樹・ロイヤルセレクション」 銘木を2mm厚の挽き板として贅沢に使用
⇒ Eidai Vietnam Co.,Ltd.において挽き板フローリングの
生産技術、品質管理体制を確立
- ② 「銘樹・ヌーディーセレクション」 素材が引き立つ木肌感が特長
- ③ 「銘樹・プレシャスセレクション」 豊富な樹種に艶のある塗装

下期の施策

■ シニアマーケットへの販売強化

- ・シニアマーケット向け「セーフケアプラス」製品群において新製品発売
- ・体感型ショールーム「大阪ファクトリーギャラリー」の活用

＜サービス付き高齢者向け住宅の施工例＞

共用ゾーン



居室ゾーン



下期の施策

■ ストック需要への対応

- ・キッチンをはじめとする水廻り製品の強化
- ・内装システム分野では、午前中のオーダーを翌々日にお届けするサービスを拡充

■ 円安への対応

- ・下期の影響額 1ドル=115円 ⇒ 130百万円

- ① コストダウン
 - ② 商品構成改善
 - ③ 売価改定
- } 最重点課題

⇒ フローリング基材の国産材化、輸入合板の体積減を進める

中長期的な施策

- 出生率の低下、人口と世帯数のピークアウト
- 平成37年(2025年)には団塊の世代が全て後期高齢者
- 高齢者の単独世帯の増加
- 60万戸のサ高住を整備
- 中古住宅・リフォーム市場の規模倍増(20兆円)
- 省エネ住宅の拡大



新設住宅着工戸数の減少

→ 平成32年(2020年)以降は60万戸台へ
シニアマーケット・ストック需要の拡大

中長期的な施策

■ 成長分野への販売強化

- ・シニアマーケット

- ファクトリーギャラリーを大阪以外の拠点へ展開

- セーフケアプラス製品群の拡充

- ・ストック需要

- リフォーム・中古住宅流通市場への取組

中長期的な施策

■ 他社との差別化を図る新製品開発

次世代蓄熱フローリングシステム

⇒ 三菱樹脂インフラテック社との共同開発

- ① 国内初となる蓄熱機能を持つ木質フローリング
- ② 業界トップレベルの高出力放熱パネル

改正省エネ基準への適合が義務付けられると
省エネ住宅がよりクローズアップ

中長期的な施策

■ 海外市場の開拓

- ・縮小する国内住宅市場
⇒ 海外の販路開拓へ
- ・成長が期待されるASEAN諸国への販売
⇒ ASEAN諸国のマーケティング
　　住宅市場の成長性、木質製品の使用状況、
　　当社製品の可能性

2. 平成26年度上期 決算概要

連結損益計算書

(百万円)

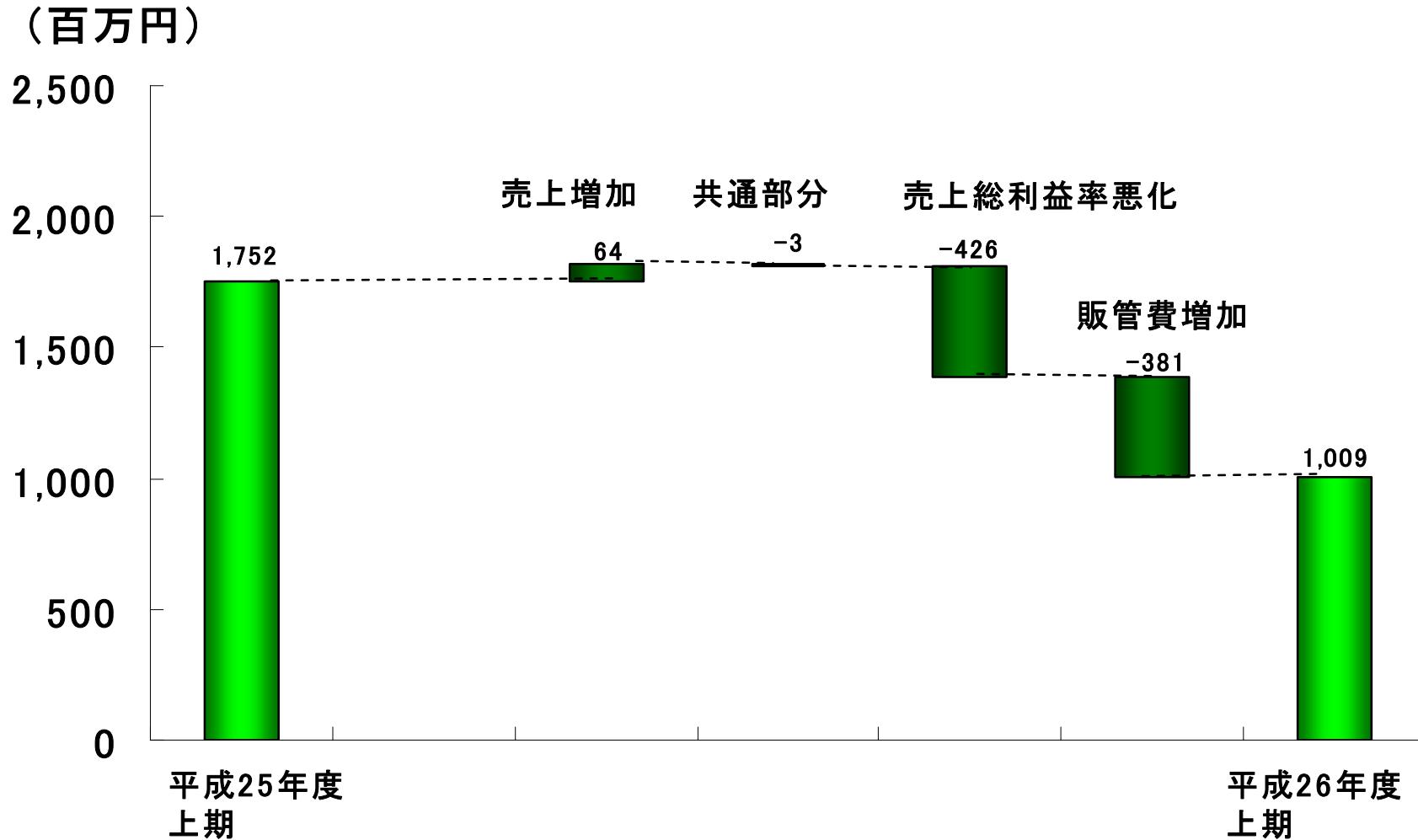
	平成24年度 上期	平成25年度 上期	平成26年度 上期	増減	
				金額	前期比
売上高	29,294	31,454	31,705	251	0.8%
売上総利益	6,891	8,401	8,039	△ 362	△4.3%
(売上総利益率)	23.5%	26.7%	25.4%	—	△1.3ポイント
販管費	6,360	6,649	7,030	381	5.7%
(販管費率)	21.7%	21.1%	22.2%	—	1.0ポイント
営業利益	531	1,752	1,009	△ 743	△42.4%
(営業利益率)	1.8%	5.6%	3.2%	—	△2.4ポイント
経常利益	641	1,885	1,161	△ 723	△38.4%
(経常利益率)	2.2%	6.0%	3.7%	—	△2.3ポイント
当期純利益	399	1,140	745	△ 395	△34.6%
1株当たり当期純利益	8円69銭	24円82銭	16円22銭	8円60銭	△34.6%

連結セグメント別・分野別売上高

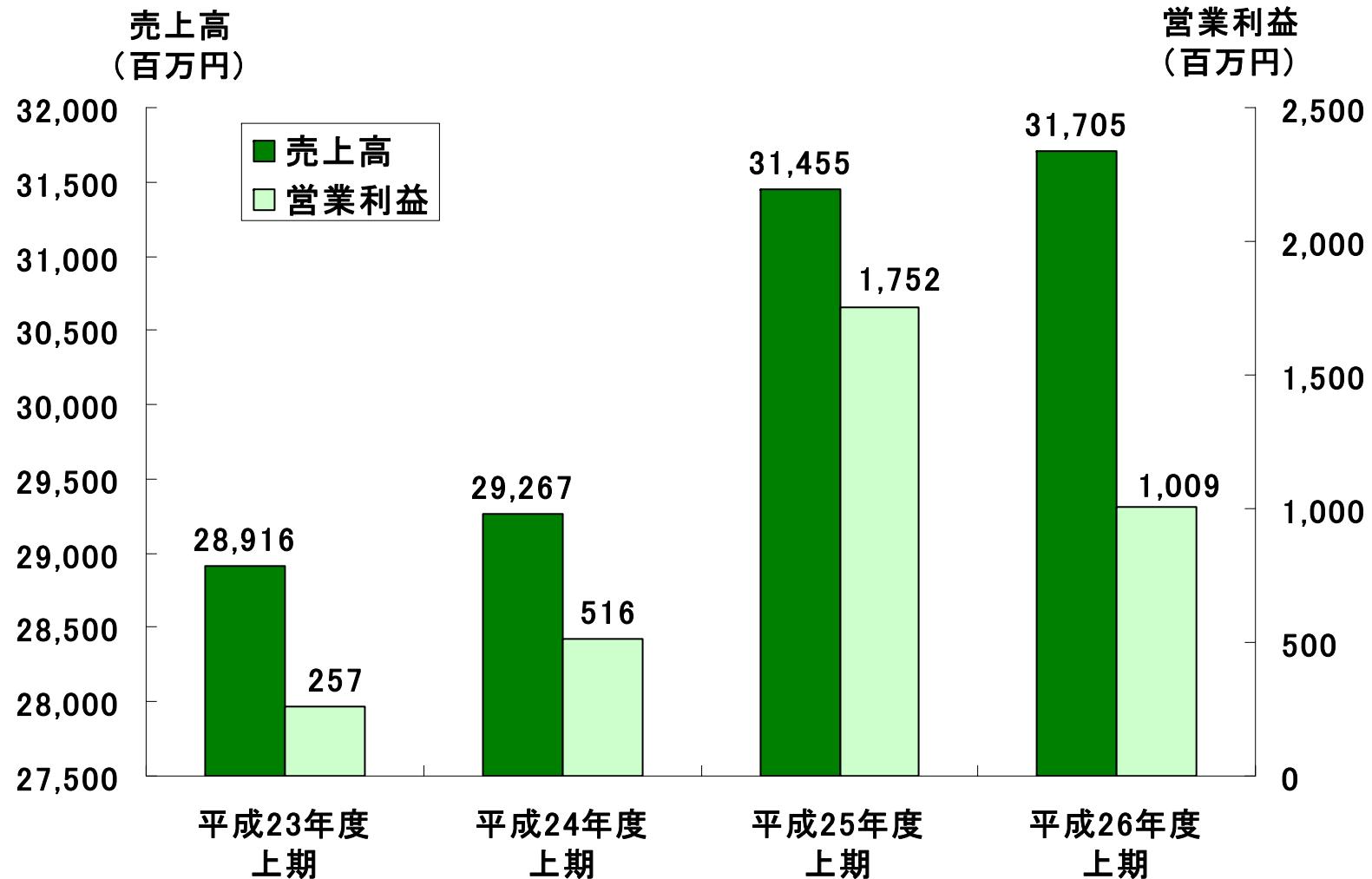
(百万円)

	平成25年度上期		平成26年度上期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	前期比
建材	12,992	41.3%	13,366	42.2%	374	2.9%
内装システム	11,485	36.5%	11,768	37.1%	283	2.5%
住設	3,134	10.0%	3,174	10.0%	39	1.2%
(住宅資材事業 計)	27,613	87.8%	28,309	89.3%	696	2.5%
パーティクルボード	3,802	12.1%	3,317	10.5%	△ 484	△ 12.7%
(木質ボード事業 計)	3,802	12.1%	3,317	10.5%	△ 484	△ 12.7%
(その他事業)	39	0.1%	78	0.2%	39	101.3%
合計	31,454	100.0%	31,705	100.0%	251	0.8%

営業利益減少の要因分析(連結)



売上高・営業利益の推移



経営指標

	平成23年度 上期	平成24年度 上期	平成25年度 上期	平成26年度 上期
発行済み株式総数(千株) (うち自己株(千株))	46,783 836	46,783 836	46,783 836	46,783 836
1株当たり純資産	841円49銭	851円73銭	916円78銭	955円55銭
1株当たり当期純利益	4円69銭	8円69銭	24円82銭	16円22銭
9月末日株価	242円	351円	507円	482円
PBR (東証1部平均)	0.29 0.8	0.41 0.7	0.55 1.1	0.50 1.1
PER (東証1部平均)	51.6 15.7	40.4 16.4	20.4 21.8	29.7 17.5

平成26年度 連結業績予想

(百万円)

	平成25年度 通期実績	平成26年度 通期予想	増減	
			金額	前期比
売上高	65,977	64,000	△ 1,977	△ 3.0%
営業利益	3,867	2,500	△ 1,367	△ 35.4%
経常利益	4,135	2,700	△ 1,435	△ 34.7%
当期純利益	2,566	2,800	233	9.1%

(注) 平成26年度通期予想における当期純利益は、過年度に計上した関係会社株式評価損等が税務上損金算入されることで課税所得が減額され、法人税等が減少する影響を加味しております。

見通しに関する注意事項

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

以上